

10 食の安全・安心について

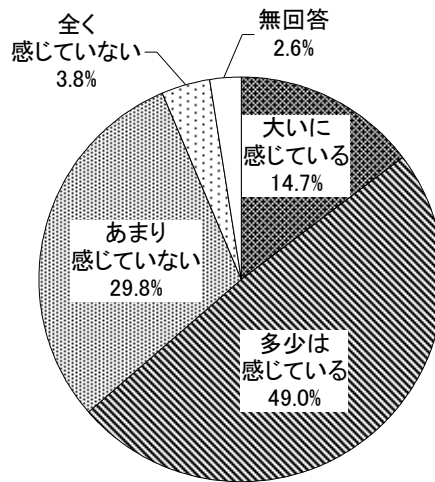
(1) 食品の安全性に対する不安

問24 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。

次の中から1つ選んでください。

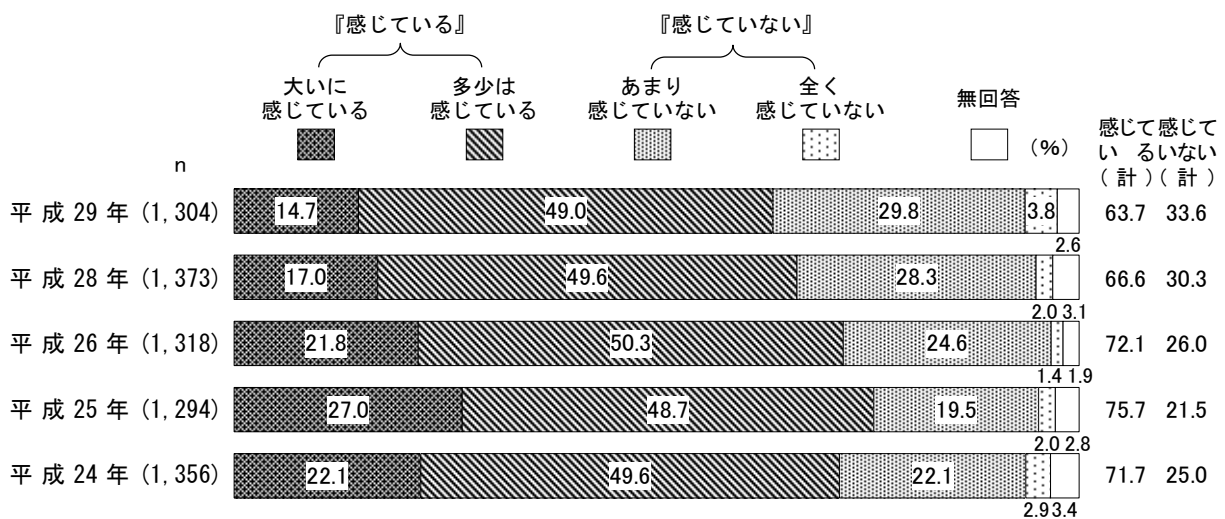
[n=1,304]

1 大いに感じている	14.7%	3 あまり感じていない	29.8%
2 多少は感じている	49.0%	4 全く感じていない	3.8%
		(無回答)	2.6%



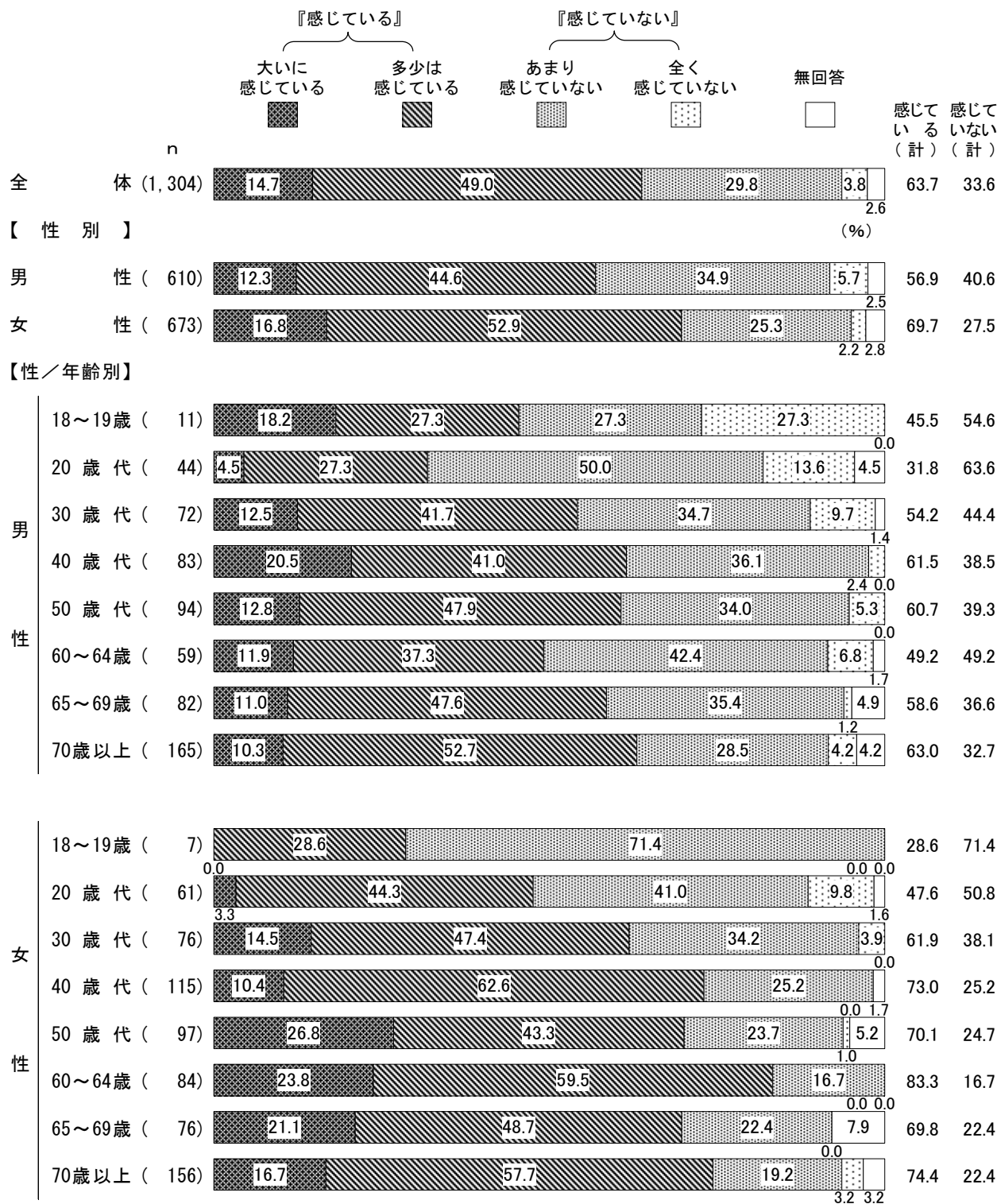
(n=1,304)

全体で見ると、「大いに感じている」(14.7%)と「多少は感じている」(49.0%)の2つを合わせた『感じている』(63.7%)は6割を超えている。一方、「あまり感じていない」(29.8%)と「全く感じていない」(3.8%)の2つを合わせた『感じていない』(33.6%)は3割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、『感じている』が前回(平成28年)より2.9ポイント減少している。一方、『感じていない』が前回(平成28年)より3.3ポイント増加している。

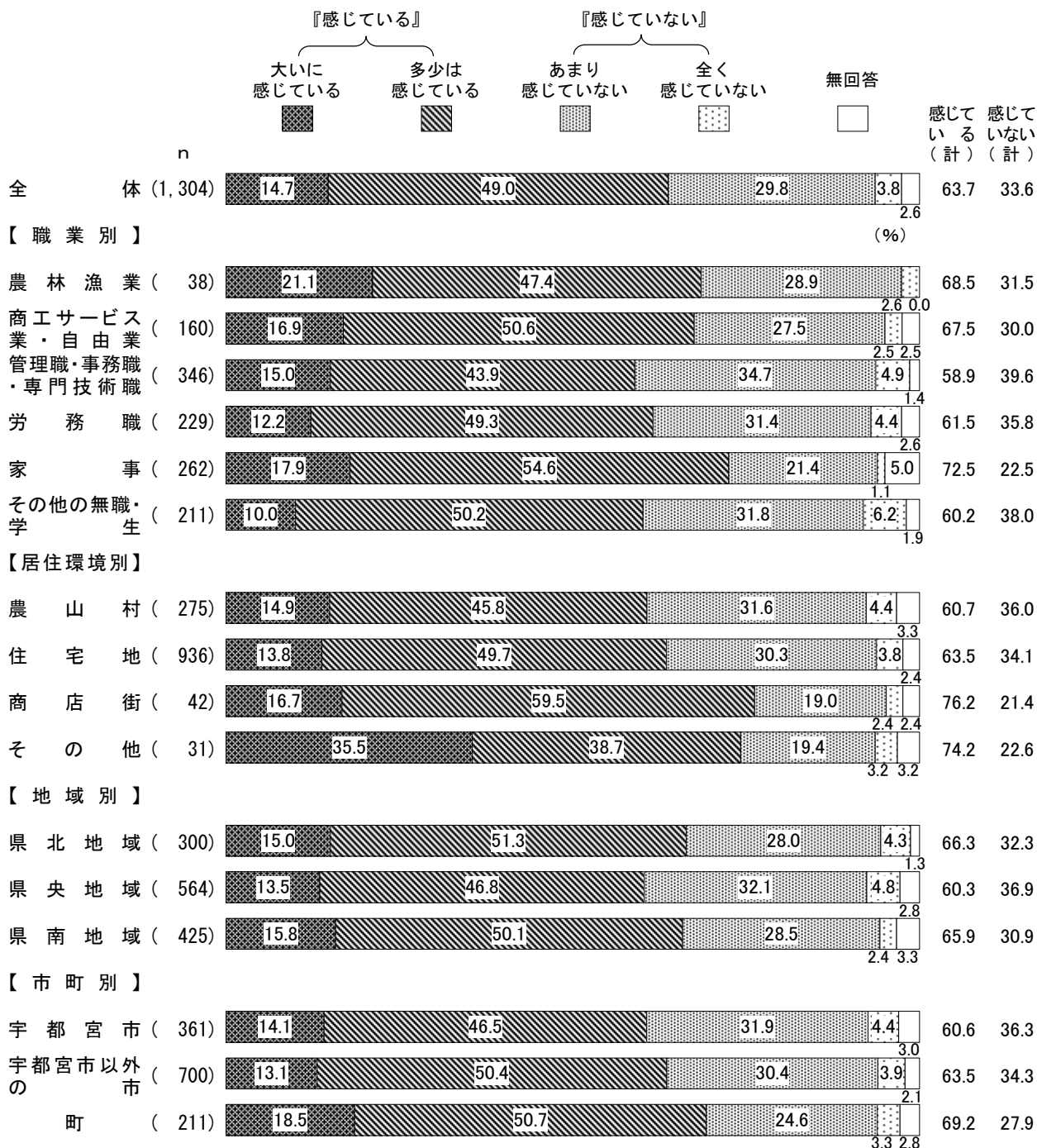
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『感じている』では〈女性〉(69.7%)が〈男性〉(56.9%)より12.8ポイント高くなっている。一方、『感じていない』では〈男性〉(40.6%)が〈女性〉(27.5%)より13.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『感じている』では〈女性60～64歳〉が83.3%、〈女性70歳以上〉が74.4%、〈女性40歳代〉が73.0%と高くなっている。一方、『感じていない』では〈男性20歳代〉が63.6%、〈女性20歳代〉が50.8%、〈男性60～64歳〉が49.2%と高くなっている。

【職業別・居住環境別・地域別・市町別】



職業別でみると、『感じている』では〈家事〉が72.5%と高くなっている。一方、『感じていない』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が39.6%、〈その他の無職・学生〉が38.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、『感じている』では〈商店街〉が76.2%と高くなっている。

地域別でみると、『感じている』では〈県北地域〉が66.3%、〈県南地域〉が65.9%と高くなっている。

市町別でみると、『感じている』では〈町〉が69.2%と高くなっている。

(1-1) 食品の安全性について不安に思うもの

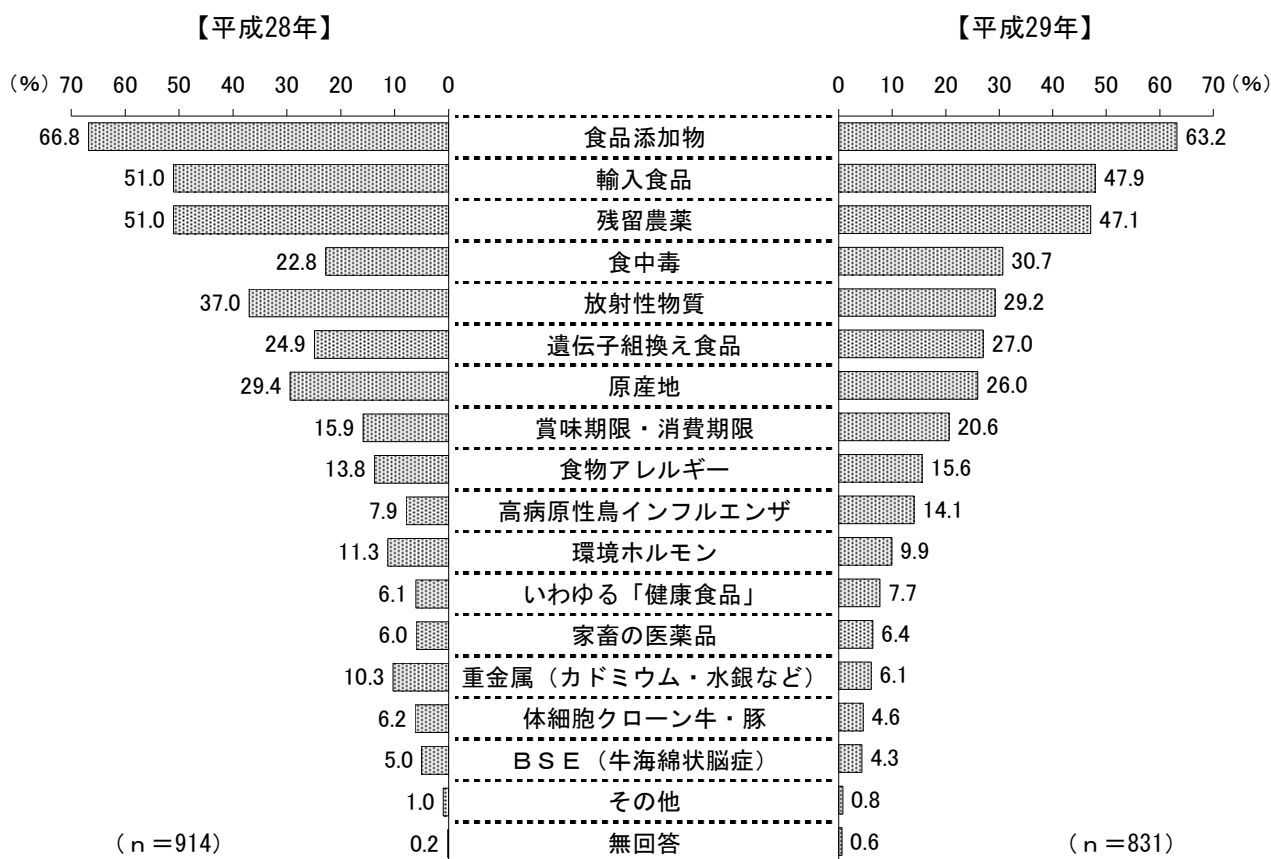
(問24で選択肢「大いに感じている」、「多少は感じている」を選んだ方のみお答えください)

問24-1 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。

次の中から4つまで選んでください。

[n=831]

1	残留農薬	47.1%	10	重金属（カドミウム・水銀など）	6.1%
2	食品添加物	63.2	11	食中毒	30.7
3	環境ホルモン	9.9	12	いわゆる「健康食品」	7.7
4	遺伝子組換え食品	27.0	13	原産地	26.0
5	BSE（牛海綿状脳症）	4.3	14	輸入食品	47.9
6	高病原性鳥インフルエンザ	14.1	15	賞味期限・消費期限	20.6
7	体細胞クローン牛・豚	4.6	16	放射性物質	29.2
8	食物アレルギー	15.6	17	その他	0.8
9	家畜の医薬品	6.4		(無回答)	0.6

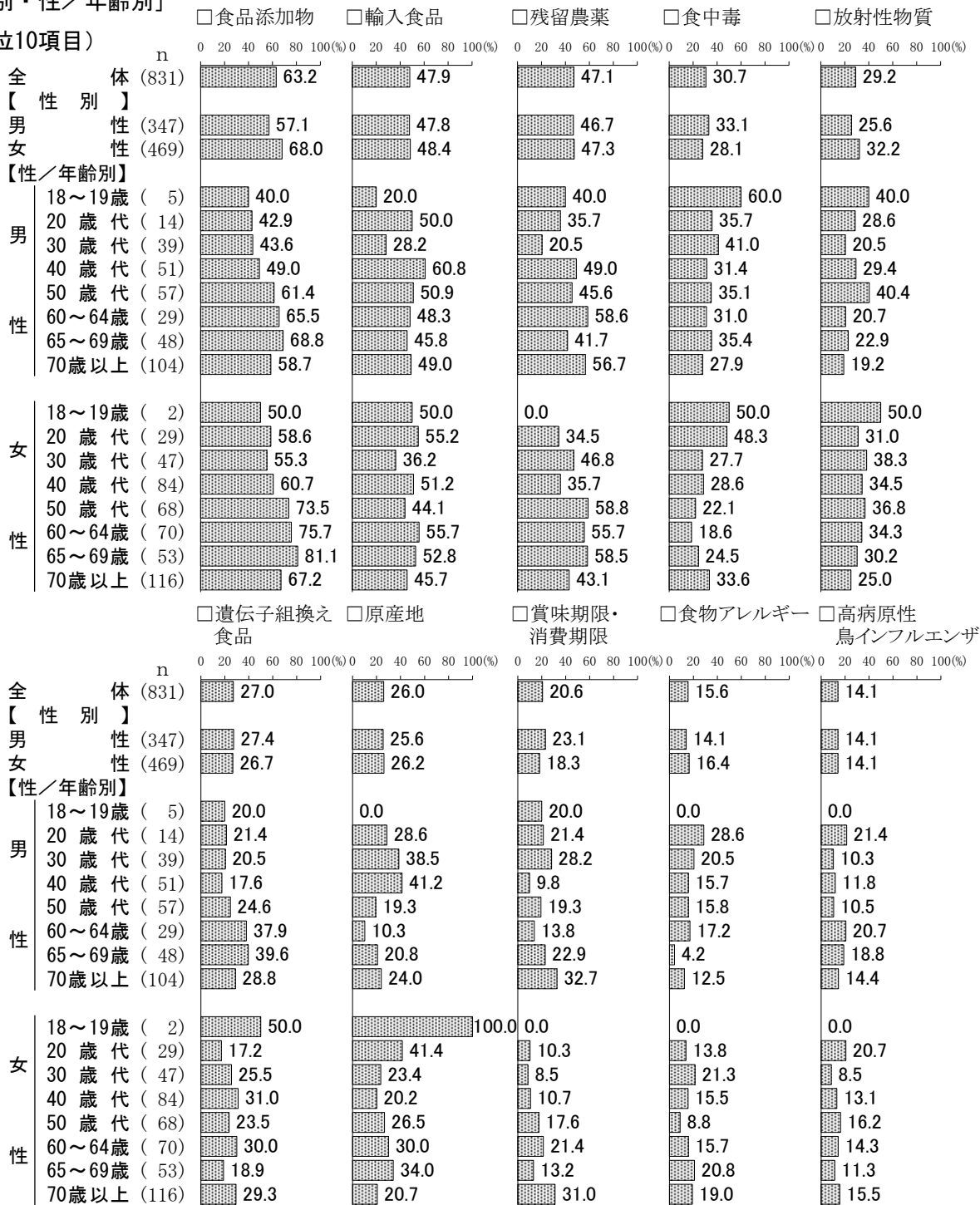


全体で見ると、「食品添加物」(63.2%)が6割を超えて最も高く、次いで「輸入食品」(47.9%)、「残留農薬」(47.1%)、「食中毒」(30.7%)、「放射性物質」(29.2%)の順となっている。

前回(平成28年)の調査結果と比較すると、「食中毒」は7.9ポイント、「高病原性鳥インフルエンザ」は6.2ポイント、「賞味期限・消費期限」は4.7ポイント、それぞれ増加している。一方、「放射性物質」は7.8ポイント、「重金属(カドミウム・水銀など)」は4.2ポイント、それぞれ減少している。

[性別・性/年齢別]

(上位10項目)

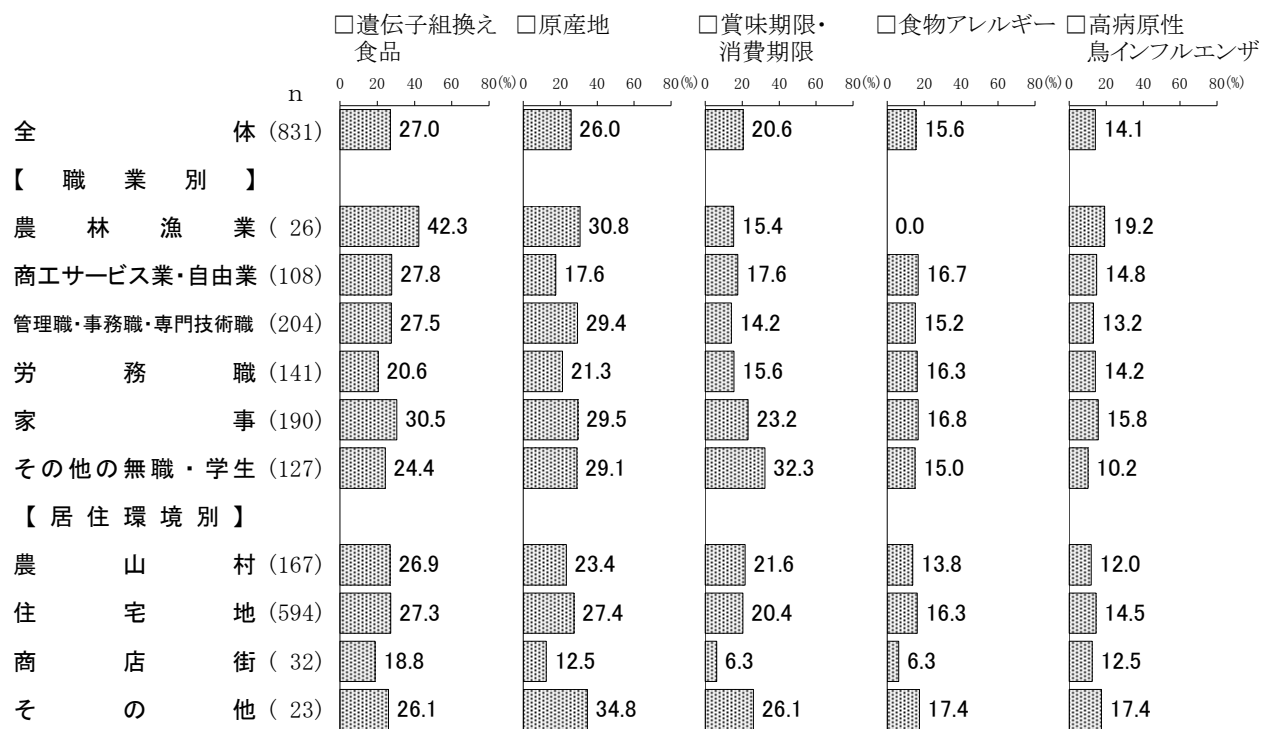
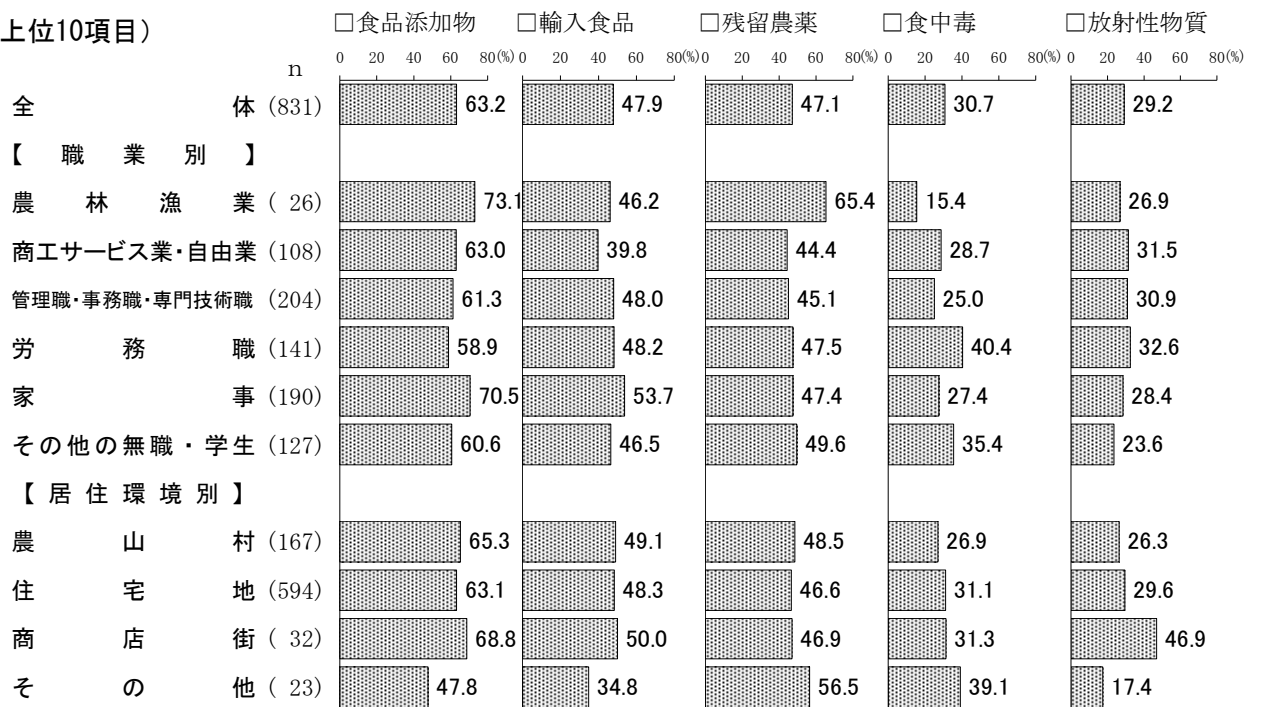


性別でみると、「食品添加物」では〈女性〉(68.0%)が〈男性〉(57.1%)より10.9ポイント高くなっている。「放射性物質」では〈女性〉(32.2%)が〈男性〉(25.6%)より6.6ポイント高くなっている。「食中毒」では〈男性〉(33.1%)が〈女性〉(28.1%)より5.0ポイント高くなっている。「賞味期限・消費期限」では〈男性〉(23.1%)が〈女性〉(18.3%)より4.8ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「食品添加物」では〈女性65~69歳〉が81.1%と高くなっている。「輸入食品」では〈男性40歳代〉が60.8%と高くなっている。「残留農薬」では〈女性50歳代〉が58.8%、〈男性60~64歳〉が58.6%、〈女性65~69歳〉が58.5%と高くなっている。「食中毒」では〈女性20歳代〉が48.3%と高くなっている。「放射性物質」では〈男性50歳代〉が40.4%と高くなっている。「原産地」では〈女性20歳代〉が41.4%、〈男性40歳代〉が41.2%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「食品添加物」では〈農林漁業〉が73.1%、〈家事〉が70.5%と高くなっている。「残留農薬」では〈農林漁業〉が65.4%と高くなっている。「食中毒」では〈労務職〉が40.4%と高くなっている。「遺伝子組換え食品」では〈農林漁業〉が42.3%と高くなっている。「賞味期限・消費期限」では〈その他の無職・学生〉が32.3%と高くなっている。

居住環境別で見ると、「食品添加物」では〈商店街〉が68.8%と高くなっている。「放射性物質」では〈商店街〉が46.9%と高くなっている。

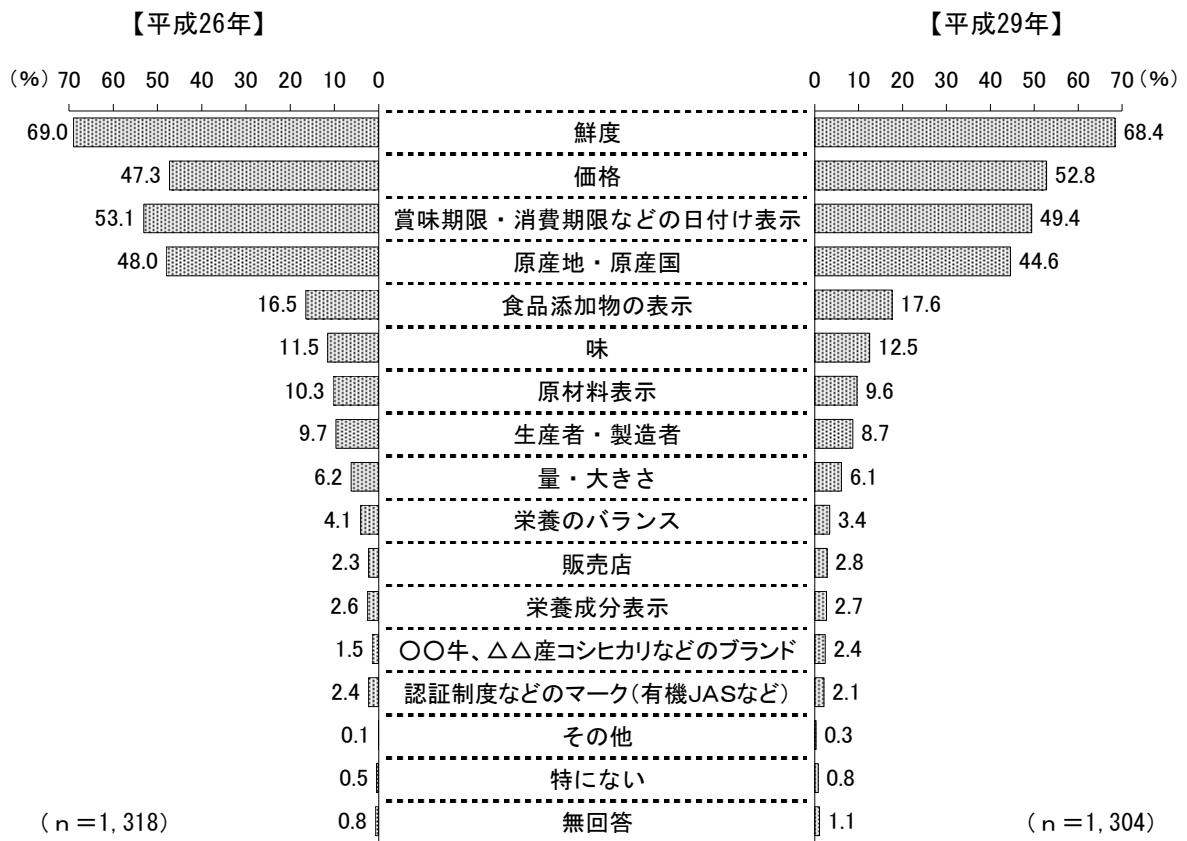
(2) 食品を購入するときに気を付けること

問25 あなたが食品を購入するときに気を付けることは何ですか。

次の中から3つまで選んでください。

[n = 1,304]

1	鮮度	68.4%	9	生産者・製造者	8.7%
2	価格	52.8	10	販売店	2.8
3	味	12.5	11	栄養成分表示	2.7
4	量・大きさ	6.1	12	栄養のバランス	3.4
5	原材料表示	9.6	13	〇〇牛、△△産コシヒカリなどのブランド	2.4
6	食品添加物の表示	17.6	14	認証制度などのマーク(有機JASなど)	2.1
7	賞味期限・消費期限などの日付け表示	49.4	15	その他	0.3
8	原産地・原産国	44.6	16	特にない	0.8
				(無回答)	1.1



全体でみると、「鮮度」(68.4%)が7割近くで最も高く、次いで「価格」(52.8%)、「賞味期限・消費期限などの日付け表示」(49.4%)、「原産地・原産国」(44.6%)の順となっている。

平成26年の調査結果と比較すると、「価格」が5.5ポイント増加している。一方、「賞味期限・消費期限などの日付け表示」が3.7ポイント、「原産地・原産国」が3.4ポイント、それぞれ減少している。

[性別・性/年齢別]

□鮮度

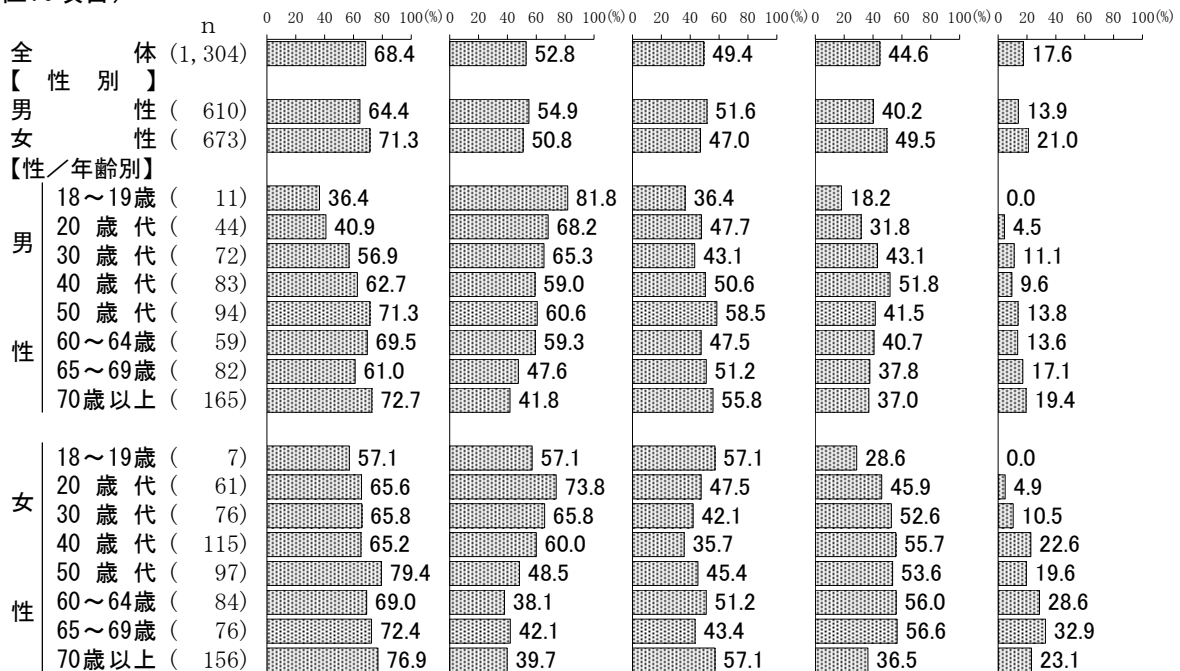
□価格

□賞味期限・消費期限などの日付け表示

□原産地・原産国

□食品添加物の表示

(上位10項目)



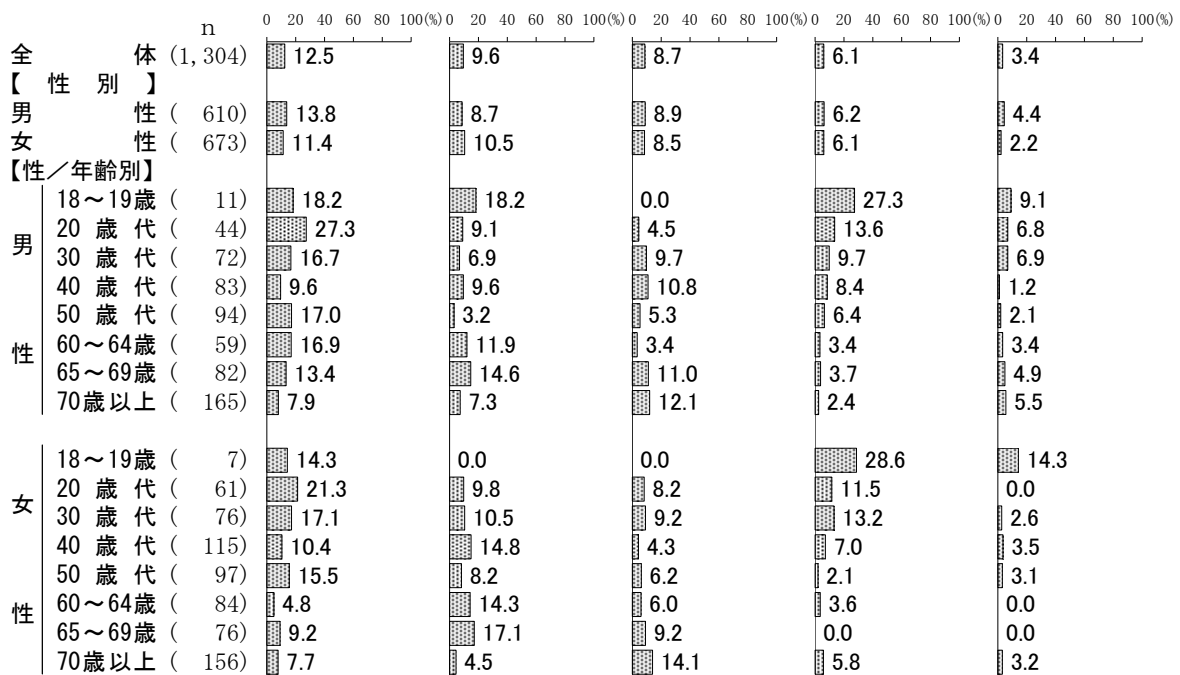
□味

□原材料表示

□生産者・製造者

□量・大きさ

□栄養のバランス

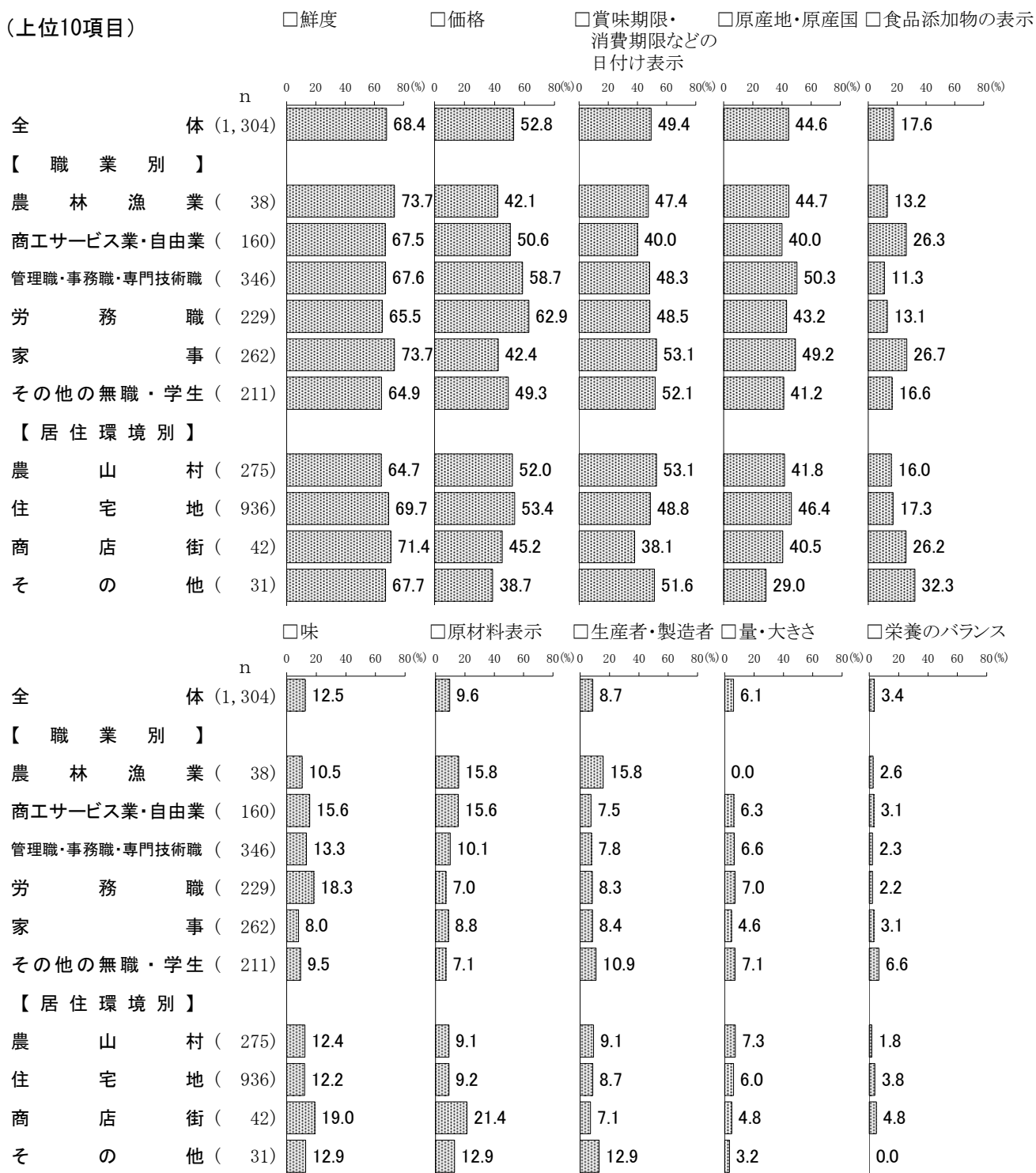


性別でみると、「原産地・原産国」では〈女性〉(49.5%)が〈男性〉(40.2%)より9.3ポイント高くなっている。「食品添加物の表示」では〈女性〉(21.0%)が〈男性〉(13.9%)より7.1ポイント高くなっている。「鮮度」では〈女性〉(71.3%)が〈男性〉(64.4%)より6.9ポイント高くなっている。「賞味期限・消費期限などの日付け表示」では〈男性〉(51.6%)が〈女性〉(47.0%)より4.6ポイント高くなっている。「価格」では〈男性〉(54.9%)が〈女性〉(50.8%)より4.1ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「鮮度」では〈女性50歳代〉が79.4%と高くなっている。「価格」では〈女性20歳代〉が73.8%と高くなっている。「賞味期限・消費期限などの日付け表示」では〈男性50歳代〉が58.5%、〈女性70歳以上〉が57.1%と高くなっている。「食品添加物の表示」では〈女性65~69歳〉が32.9%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]

(上位10項目)



職業別で見ると、「価格」では〈労務職〉が62.9%と高くなっている。「食品添加物の表示」では〈家事〉が26.7%、〈商工サービス業・自由業〉が26.3%と高くなっている。

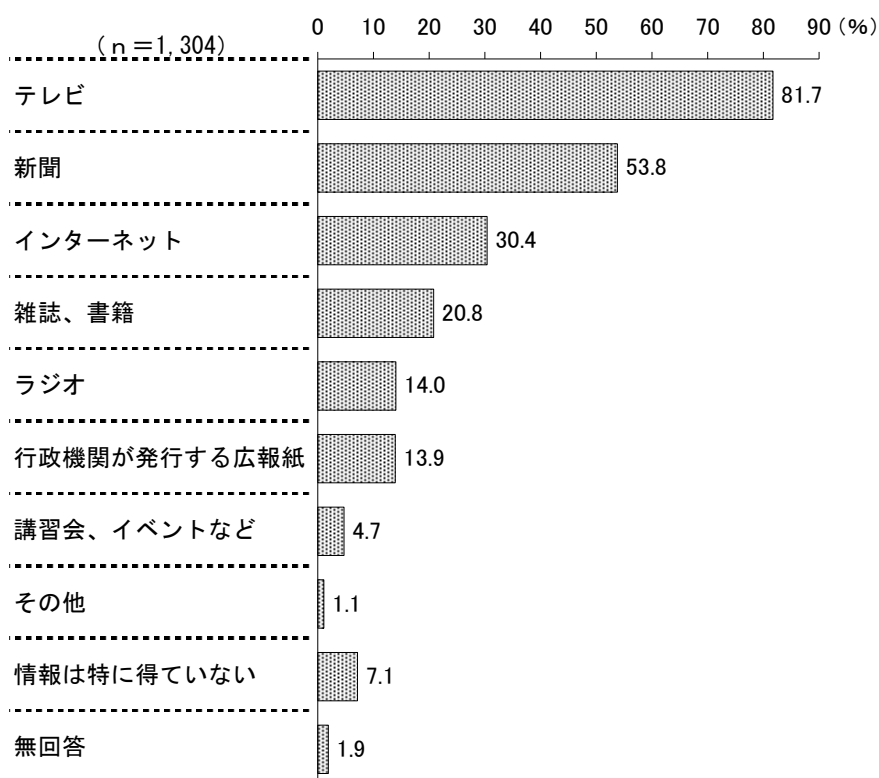
居住環境別で見ると、「賞味期限・消費期限などの日付け表示」では〈農山村〉が53.1%と高くなっている。「食品添加物の表示」では〈商店街〉が26.2%と高くなっている。「原材料表示」では〈商店街〉が21.4%と高くなっている。

(3) 食の安全に関する情報の取得方法

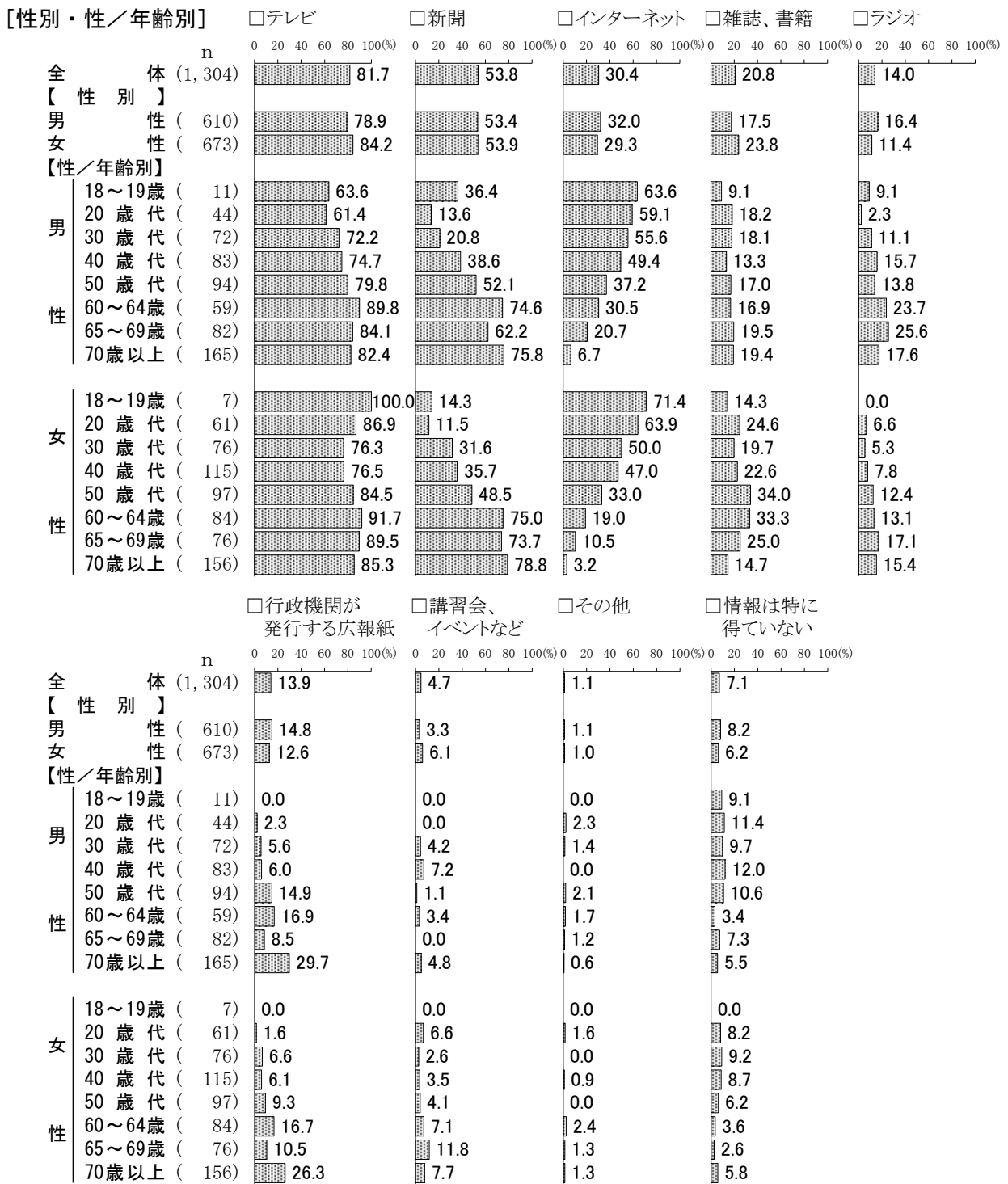
問26 あなたは、食の安全に関する情報をどのような方法で得ていますか。
次の中から3つまで選んでください。

[n=1,304]

1	テレビ	81.7%	6	講習会、イベントなど	4.7%
2	ラジオ	14.0	7	インターネット	30.4
3	新聞	53.8	8	その他	1.1
4	雑誌、書籍	20.8	9	情報は特に得ていない	7.1
5	行政機関が発行する広報紙	13.9		(無回答)	1.9



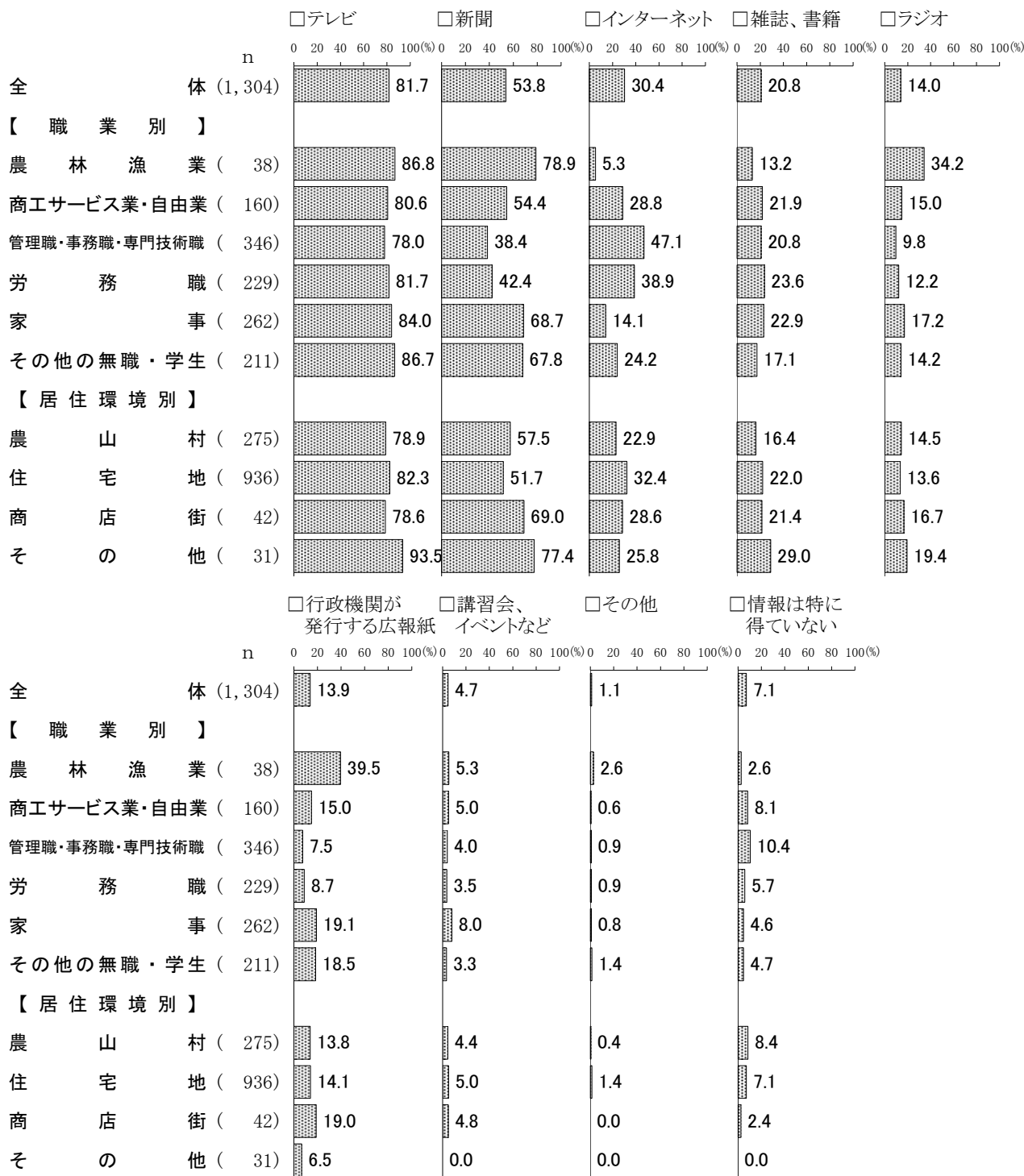
全体で見ると、「テレビ」(81.7%)が8割を超えて最も高く、次いで「新聞」(53.8%)、「インターネット」(30.4%)、「雑誌、書籍」(20.8%)、「ラジオ」(14.0%)、「行政機関が発行する広報紙」(13.9%)の順となっている。



性別でみると、「雑誌、書籍」では〈女性〉(23.8%)が〈男性〉(17.5%)より6.3ポイント高くなっている。「テレビ」では〈女性〉(84.2%)が〈男性〉(78.9%)より5.3ポイント高くなっている。「ラジオ」では〈男性〉(16.4%)が〈女性〉(11.4%)より5.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「テレビ」では〈女性60～64歳〉が91.7%、〈男性60～64歳〉が89.8%、〈女性65～69歳〉が89.5%と高くなっている。「新聞」では〈女性70歳以上〉が78.8%と高くなっている。「インターネット」では男女ともに低い年代ほど割合が高くなっている。「行政機関が発行する広報紙」では〈男性70歳以上〉が29.7%、〈女性70歳以上〉が26.3%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]



職業別で見ると、「新聞」では〈農林漁業〉が78.9%と高くなっている。「インターネット」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が47.1%、〈労務職〉が38.9%と高くなっている。「ラジオ」では〈農林漁業〉が34.2%と高くなっている。「行政機関が発行する広報紙」では〈農林漁業〉が39.5%と高くなっている。

居住環境別で見ると、「新聞」では〈商店街〉が69.0%と高くなっている。

(4)「HACCP (ハサップ)」の認知度

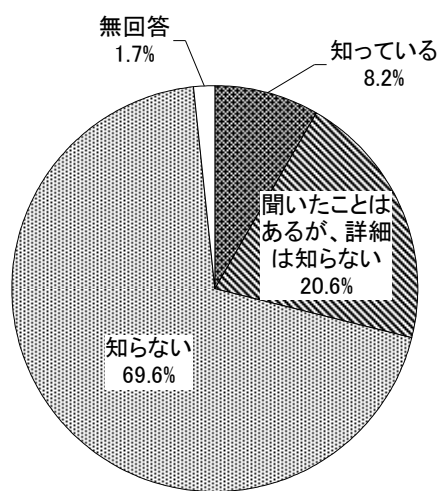
問27 あなたは、HACCP (ハサップ) (※) を知っていますか。

次の中から1つ選んでください。

※ HACCP (ハサップ) とは、食品の安全性を確保するための衛生管理の手法で、国際標準となっています。

[n=1,304]

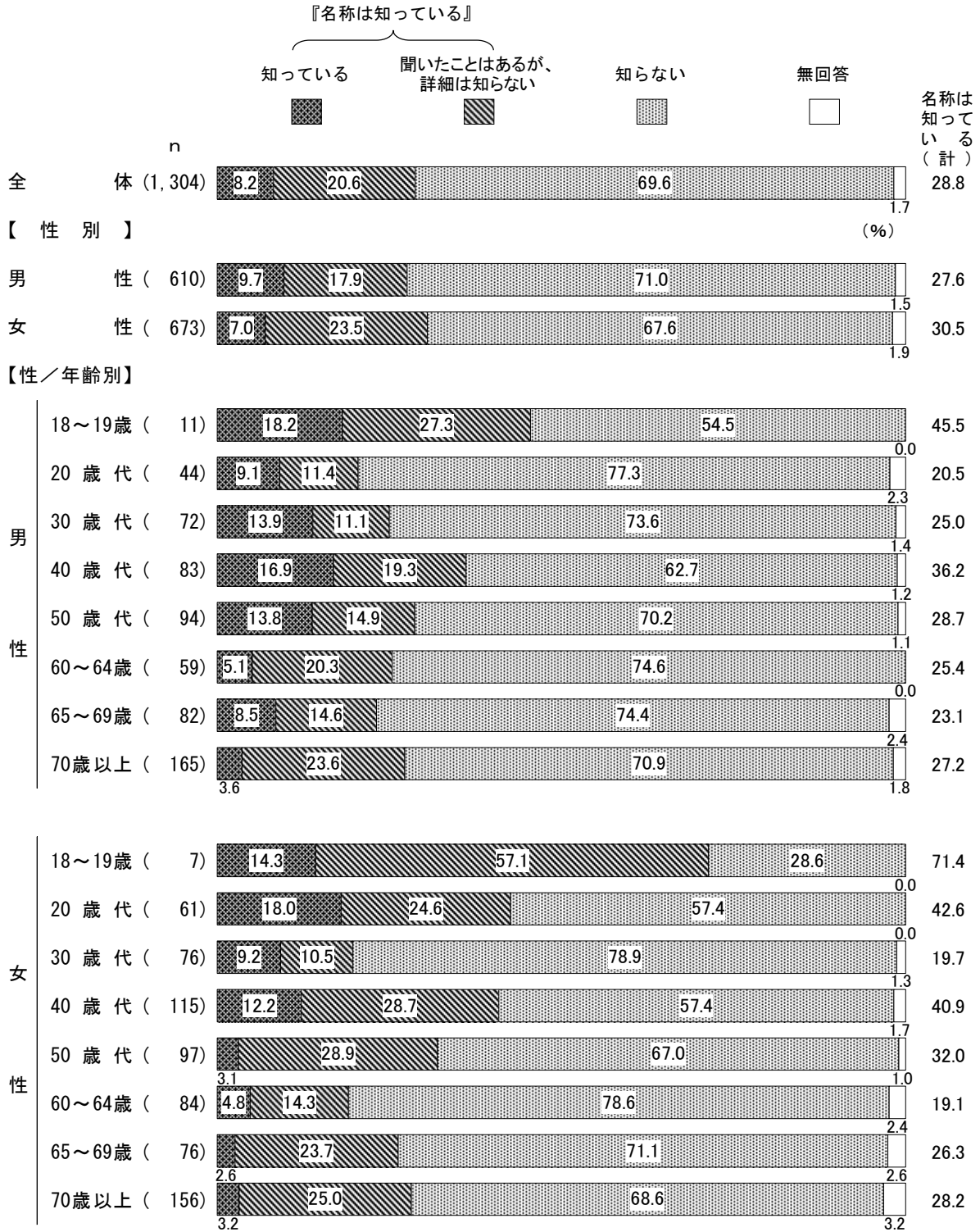
1	知っている	8.2%	3	知らない	69.6%
2	聞いたことはあるが、詳細は知らない	20.6	(無回答)		1.7



(n=1,304)

全体で見ると、「知っている」(8.2%)と「聞いたことはあるが、詳細は知らない」(20.6%)の2つを合わせた『名称は知っている』(28.8%)は3割近くとなっている。一方、「知らない」(69.6%)は7割となっている。

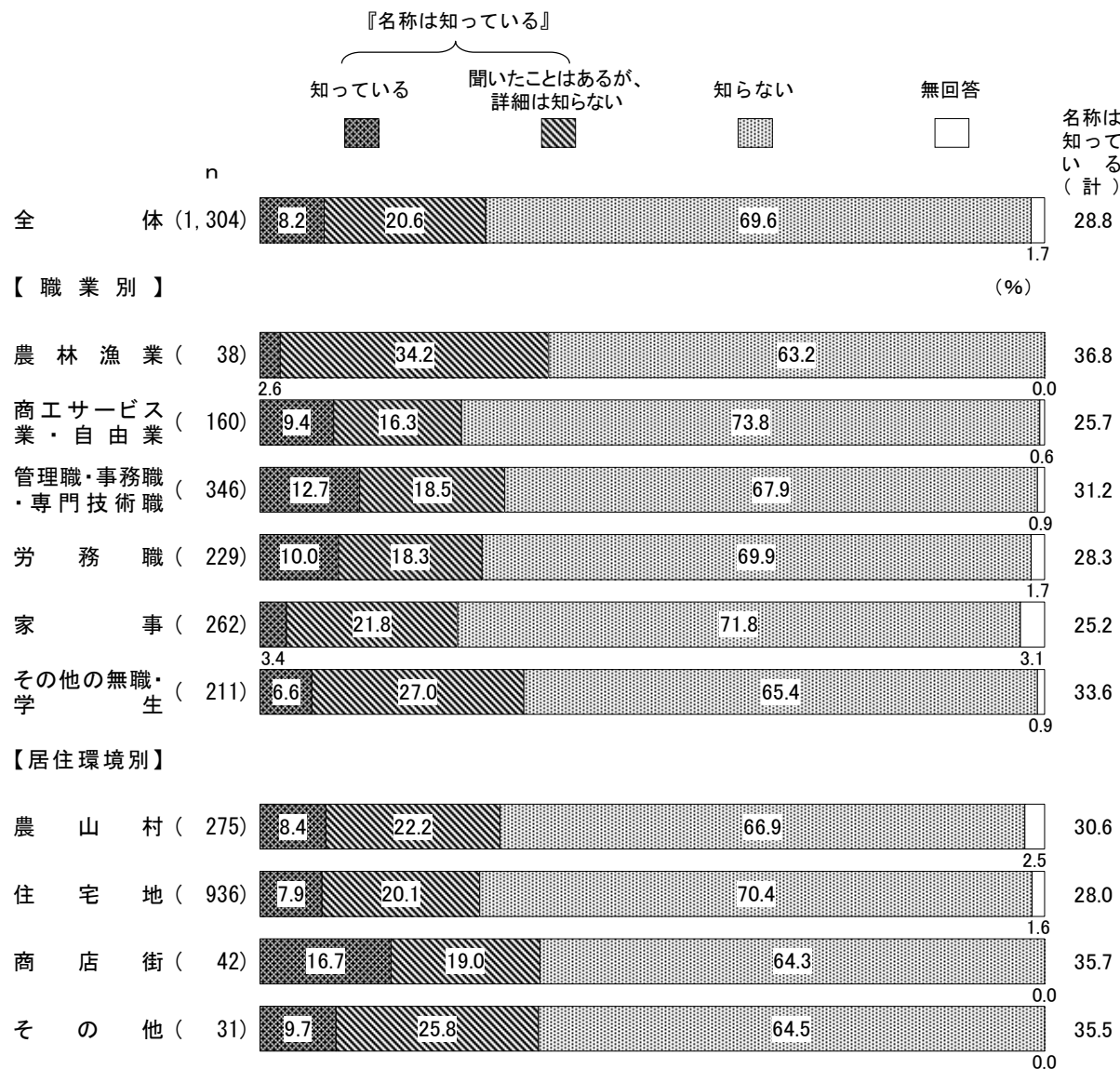
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『名称は知っている』では〈女性〉(30.5%)が〈男性〉(27.6%)より2.9ポイント高くなっている。一方、「知らない」では〈男性〉(71.0%)が〈女性〉(67.6%)より3.4ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「知っている」では〈女性20歳代〉が18.0%、〈男性40歳代〉が16.9%と高くなっている。『名称は知っている』では〈女性20歳代〉が42.6%、〈女性40歳代〉が40.9%と高くなっている。一方、「知らない」では〈女性30歳代〉が78.9%、〈女性60～64歳〉が78.6%、〈男性20歳代〉が77.3%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]



職業別で見ると、『名称は知っている』では〈農林漁業〉が36.8%と高くなっている。

居住環境別で見ると、「知っている」では〈商店街〉が16.7%と高くなっている。『名称は知っている』では〈商店街〉が35.7%と高くなっている。